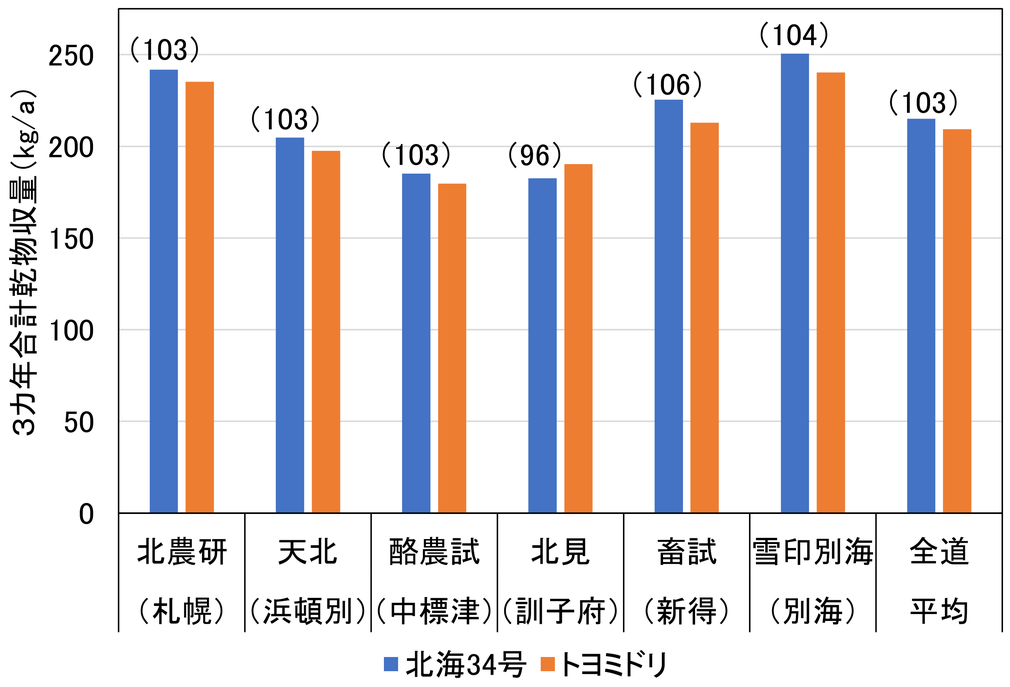
待ってたよ！品質の良いオーチャードグラス 新品種「北海34号」

オーチャードグラス「北海34号」は、農研機構北海道農業研究センターと雪印種苗株式会社が共同育成した、30年ぶりの極晩生新品種です。収量性は標準品種「トヨミドリ」よりやや優れ、WSC（糖）含量と高消化性成分含量が高く飼料品質が優れます。

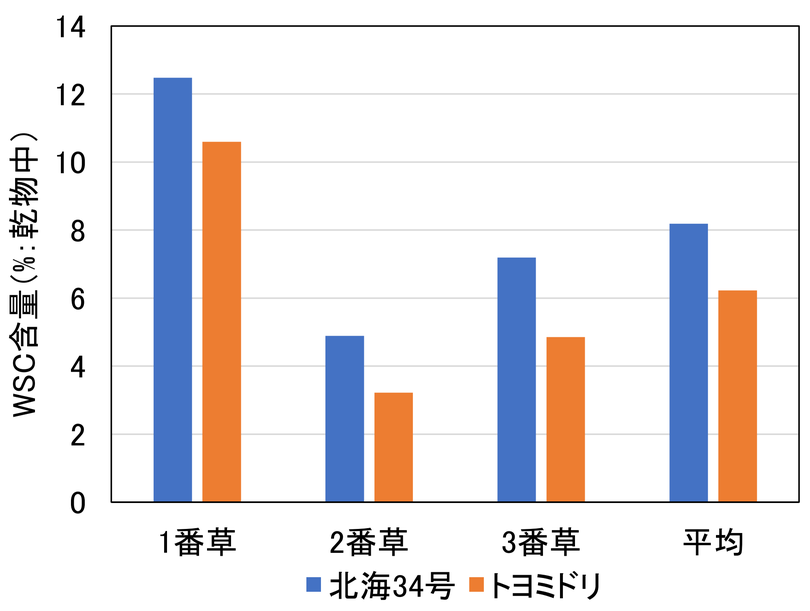
収量性



オーチャードグラス「北海34号」の3カ年合計乾物収量

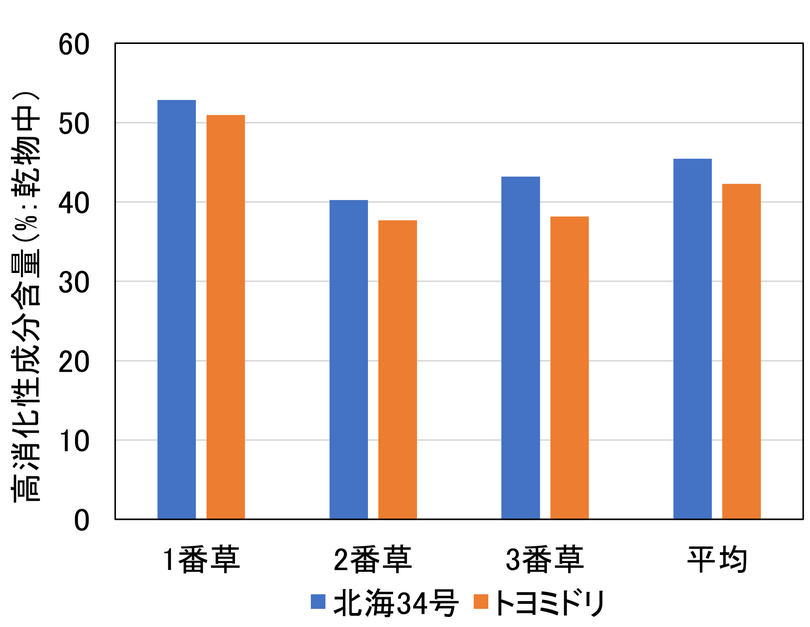
注）バーの上のカッコは標準品種「トヨミドリ」比（%）

飼料品質



オーチャードグラス「北海34号」のWSC[1)]含量

1）WSC：水溶性炭水化物（糖）。北農研と雪印別海の2場所2カ年平均。



オーチャードグラス「北海34号」の高消化性成分[1)]含量

1）高消化性成分：OCC （細胞内容物質）とOa（高消化性繊維）の合計。北農研と雪印別海の2場所2カ年平均。

生育特性および混播適性

オーチャードグラス「北海34号」の主な生育特性

品種・系統名	出穂始日[1)]	越冬性[2)]	早春の草勢[2)]	すじ葉枯病罹病程度[3)]
北海34号	6月3日	5.5	5.8	3.0
トヨミドリ	6月5日	5.2	5.8	3.3

1）6場所2カ年平均。2）1:極不良-9:極良、6場所2カ年平均。3）1:無または極微-9:極甚、発生した場所の平均。

オーチャードグラス「北海34号」の混播適性

品種・系統名	アカクローバ混播[1)]		シロクローバ混播[2)]	
	乾物収量（kg/a）	マメ科率（%）	乾物収量（kg/a）	マメ科率（%）
北海34号	206.0（105）	33	119.8（109）	20
トヨミドリ	196.6	32	109.5	19

乾物収量はイネ科とマメ科の合計で3カ年合計。カッコ内は標準品種「トヨミドリ」比(%)。マメ科率は乾物収量に占めるマメ科の比率。1）アカクローバ品種は「ナツユウ」、採草利用、北農研。2）シロクローバ品種は「アバラスティング」、草丈30-40cmで多回刈、北農研。

主な特性

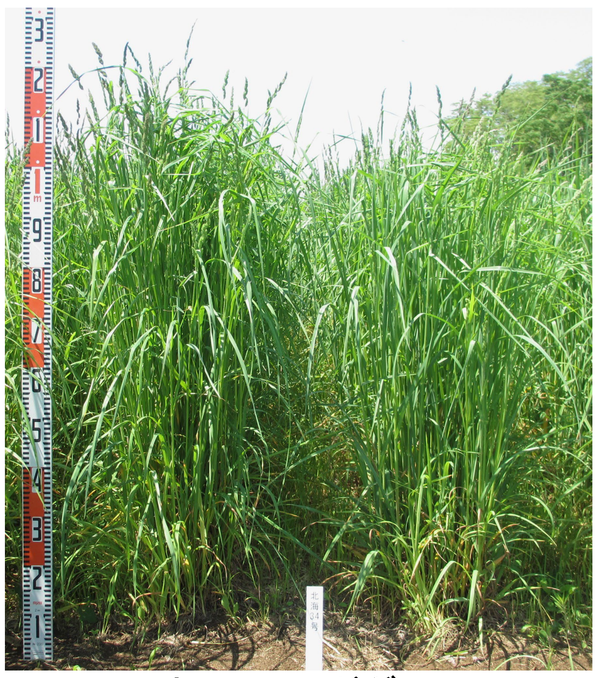
1）出穂始は、標準品種「トヨミドリ」より2日早い極晩生。
2）乾物収量は「トヨミドリ」よりやや多い。越冬性と耐病性は「トヨミドリ」並。
3）WSC（糖）含量は「トヨミドリ」より2ポイント高く、高消化性成分含量は「トヨミドリ」より3.1ポイント高い。飼料品質は「トヨミドリ」より優れる。
4）マメ科牧草との混播で「トヨミドリ」より多収。

普及

普及対象地域は北海道全域。普及見込み面積は20,000 ha。雪印種苗（株）より販売予定。

栽培上の留意点

採草利用を主体にして、放牧利用および採草放牧兼用にも利用できる。土壌凍結地帯において、気象条件の厳しい年に越冬性がやや劣る場合があることから、晩夏の追肥等により越冬性を向上させることが望ましい。



オーチャードグラス「北海34号」（出穂期）

お問い合わせ先　農研機構北海道農業研究センター 研究推進部研究推進室
同　寒地酪農研究領域自給飼料生産グループ
〒062-8555 北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
電話：011-857-9260　E-mail：cryoforum@ml.affrc.go.jp
URL：https://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/harc/